

地域発展協議体 コロナ（COVID-19）対策研究会の設置

目的

コロナ禍の長期化を見据え、感染防止対策と社会経済活動の両立下での岡山経済の復興・発展を目指して、withコロナ、ポストコロナ時代において、新たな視点・関係性を見出し、不可能を可能に、危機をチャンスに変えていくため、おokayama地域発展協議体の知を総動員して、新たな研究会としてコロナ（COVID-19）対策研究会を設置する

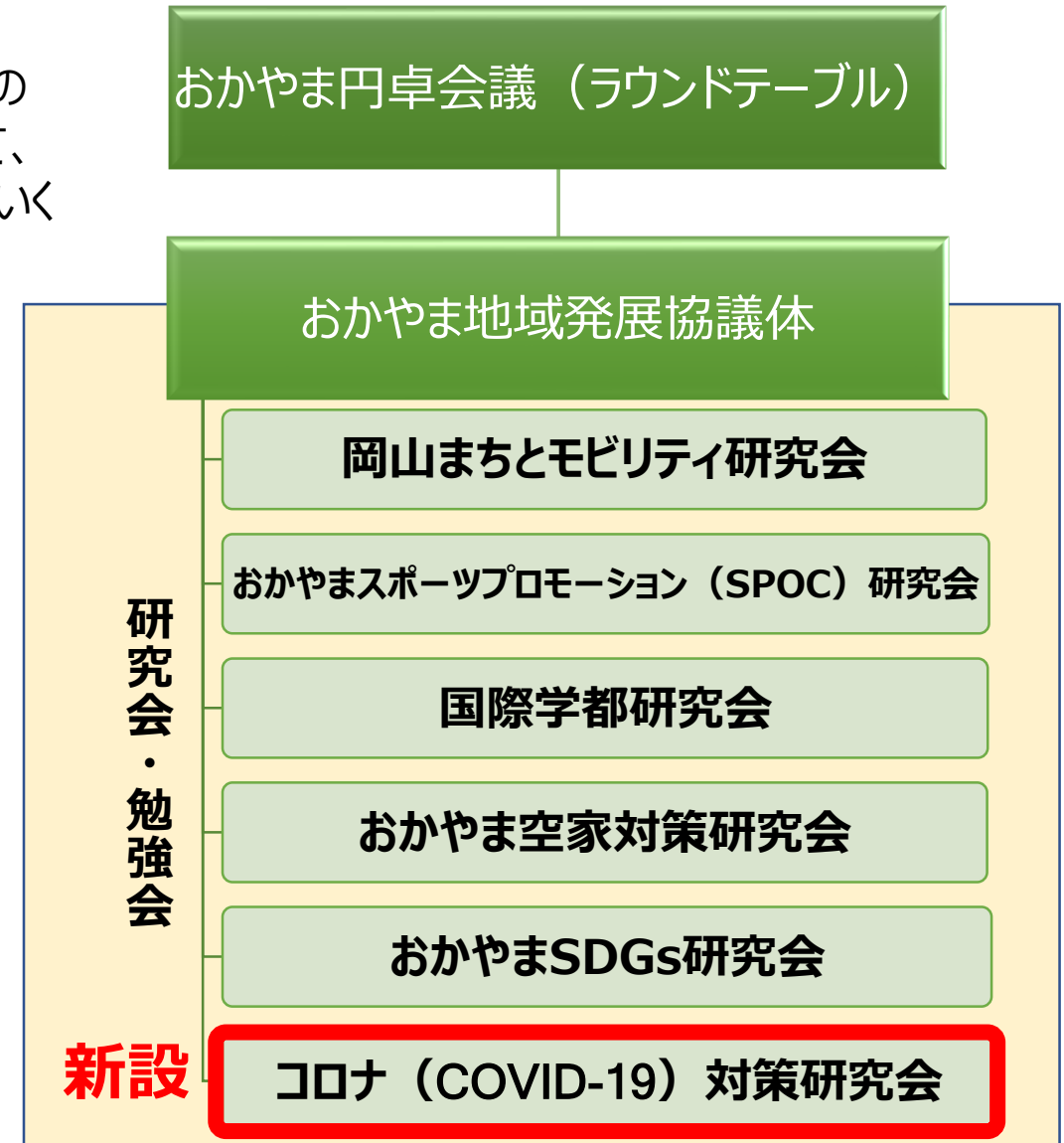
開催方法

- Webミーティングを積極的に活用
- 開催頻度を上げ、集中的に議論
- SNS等ソーシャルメディアの積極活用
- アイデアを積極的に交換し、実現可能なものから順次実行に移す

研究会の構成

次の組織から委員を選出

- 地域発展協議体構成組織
- 地域発展協議体構成組織事務局
- 地域発展協議体以外の組織（医師会、教育委員会等）



研究課題

①	感染防止と経済活動の両立に向けた施策の検討	<ul style="list-style-type: none">■ 事実・医学的知見の確認■ 効果的な感染予防対策、感染予防用具の検証■ 医療崩壊を起こさないための地域マネジメントの在り方■ 感染防止対策下での新たなビジネスの創出、雇用融通による雇用維持■ テレワーク、Webミーティングの効果的な進め方■ 効果的な経済支援策の検討（資金支援よりビジネス再構成支援）■ 効果的な広報戦略（誹謗中傷を起こさない。信頼性の向上）■ withコロナにおける教育の在り方（マイナスをプラスに転換するために）■ ネットワークの構築（一人で悩まない、共助の可能性）■ 必要な価値観（逆境をプラスに転換する？あるものを活かす？本質を追求？）■ 困窮者への支援の在り方（主体性を発揮させる、レジリエンスの維持）■ withコロナにおけるコミュニティの在り方
②	ポストコロナ時代における対応の検討	<ul style="list-style-type: none">■ ポストコロナ時代に起きる変化■ ポストコロナ時代に必要とされる価値観とスキル■ withコロナ時代の負債の返還方法■ 新たな感染症の発生や自然災害への備え■ ポストコロナ時代の教育の在り方■ ポストコロナ時代におけるコミュニティの在り方
③	真の協働の態勢を構築するための検討	<ul style="list-style-type: none">■ 産官学金言の各得意分野の確認と役割分担のしくみ■ 主体的行動に向けた情報共有のしくみ■ 協働を実現する意思決定のしくみ

情報発信

- 研究会の研究成果は随時、地域発展協議体委員、円卓会議メンバーに情報提供を行う
- 広く広報活動を行う

検討事項の実行

- それぞれの構成組織がそれぞれの得意分野に応じた役割分担を果たし、実行する
- 行政機関が対策の検討時、成果の活用を期待

事務局

岡山大学